

## ドーパミン 刺激薬

### 麦角アルカロイド

プロモクリフタン (パーロテル)

カベルゴリン (カバサル)

ペルゴリド (ペルマックス)

### 非麦角アルカロイド

Pramipexole (ロピニロール)  
 Mirapex (ミラペックス)

Ropinirole (ロピニロール)  
 Haloperidol (ハルロピドール)

Rotigone (ニュープロパッチ)

Apomorphine (アポカイン 注)

## ドーパミン放出促進薬

Amantadine (シンメトレル)

## レボドーパ 賦活薬

Zonisamide (トレリーフ)

エクセグランは適応外

MAOB 阻害作用 + チロシン水酸化酵素活性化.

## 抗コリン薬

Trihexyphenidyl (アテン)

Benztropin (アキネトン)

## アデノシン A<sub>2A</sub> 受容体拮抗薬

Istradefansin (ノウリアスト)

※ パーキンソン病では、ドーパミン神経の変性により、GABA神経が過剰興奮し、GABA量が多いため、運動機能低下。

ノウリアストは、アデノシン A<sub>2A</sub> 受容体を遮断することにより、GABA神経の過剰興奮を抑制するので、

wearing off 現象を改善。

wearing off 現象: レボドーパの効果時間短縮。

on off 現象: パーキンソン病の治療薬効果が出ている時間帯を on、効果が切れている時間帯を off。

ジスキネジア: 自分の意思とは無関係に身体が動く不随意運動。

遅発性ジスキネジアは、シナプス後のドーパミン過感受性が原因。

Bhalopamine (ジスバル) は、

前シナプスに存在するシナプス小胞内へ、ドーパミンの取り込みを行っている

小胞モノアミントランスポーター-2 (VMAT2) を阻害。